

議会だより



なかさつない



中札内村20歳を祝う会

12月定例会

条例改正、指定管理者の指定	P 2～3
補正予算	P 4
一般質問	P 5～11

議会活動報告

村内所管調査、南幌町行政視察	P 12～13
視察受入れ、議員研修など	P 14～15

中学3年生議会模擬議会、編集後記など	P 16
--------------------------	------

令和5年12月定例会

中札内村議会12月定例会は、12月8日に招集され、会期を15日までの8日間とし、8日には報告1件、条例の制定及び一部改正、指定管理者の指定、補正予算の議案18件を審議し、原案どおり可決しました。

15日には追加提案された一般会計補正予算を審議した後、6人の議員が一般質問を行い閉会しました。

主な議案と質疑を掲載します。

条例改正

●委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例

委員等の報酬のうち、社会福祉員について、特別職報酬等審議会から社会経済環境の変化やその職務と責任に対応するため、報酬の増額が妥当であると答申を受けたことから、社会福祉員の報酬額を改正しようとするもの。

（令和6年4月1日適用）
★木村議員

問 設定した報酬額の基準は。

答 毎月開催している定例民協と家庭訪問等に係る時間を合算して7時間と算定し、それに北海道の最低賃金960円を掛け合わせる。

せた額にガソリン代、電話代等に係る経費を加えて、この金額に設定した。

●中札内村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

社会情勢の変化や人口減少に伴い、消防団員の確保が困難となってきたことから、消防団の実情を勘案して定数を見直し、欠格条項を追加するため、本村条例の一部を改正するもの。

★福原議員

問 防災体制に支障はないのか。また、消防団員の補充や募集の具体的な案はあるのか。

答 実人数が減るわけではなく、消防団との会議でも支障はないという結論に至っている。

消防団あり方検討会では、今後は女性消防団員の募集を行うという結論になっている。



出初式の様子

◎人事院勧告に伴う給与等改正 ●職員の給与に関する条例

国家公務員の人事院勧告が出されたことに伴い、給料及び期末勤勉手当等を国家公務員に準じて改正しようとするもの。

給料の改正は令和5年4月1日から適用し、期末勤勉手当等は令和5年12月1日から適用しようとするもの。

●中札内村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

●中札内村長等の給与等に関する条例

期末手当について、職員に準じて改正しようとするもの。

令和5年12月1日から適用しようとするもの。

●中札内村農村環境改善センター設置条例

地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者に管理を行わせることができる旨の規定を追加するため、本村条例の一部を改正しようとするもの。

●中札内村まちなかキッチンスタジオ設置条例

まちなかキッチンスタジオの整備に伴い、新たに設置条例を制定しようとするもの。また、指定管理者に管理を行わせる旨を規定しようとするもの。

★福原議員

問 使用料は個人ごとに払うのか、団体に払うことになるのか。

答 他の公共施設においては、申し込んだ団体に負担していただいてる。同じような運用となるよう規則で規定していきたいと考えている。

★木村議員

問 プールなど、村民と村外の方で料金を分ける場合があるが、どのように考えているのか。

答 この点についても規則で規定していきたいと考えている。

★宮部議員

問 ガスなどを使用した場合の負担をどのように考えているのか。

答 他の施設で過去に別途加算という形でガス代などを徴収していたが、その後廃止した経緯があることから、ガス代などは取らない考え。

指定管理者の指定

指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を要するもの。

◆中札内交流の社

○指定管理者 (株)ユービック
○指定期間

令和6年4月1日

令和11年3月31日

～まちなかキッチンスタジオ設置条例 指定管理者が決定～

◆札内川園地南札内渓谷

◆日高山脈山岳センター

○指定管理者 (株)AOILO

○指定期間

令和6年4月1日～

令和9年3月31日

★船田議員

問 国立公園化により契約内容に変更はあるのか。

答 現段階では、指定管理の契約に変更が生じるものではないと捉えている。

★北嶋議員

問 国立公園化により事業拡大等はあるのか。

答 また、大手のアウトドア事業者等との連携は考えられないのか。
指定管理者とも協議しながら、例えば、新たなアウトドアメニューの開発などを考えていきたい。

また、アウトドア事業者との連携について、現段階では考えていない。



十勝産ピザ作り体験 in 札内川園地
主催：(株)AOILO

◆農村環境改善センター

◆まちなかキッチンスタジオ

○指定管理者

合同会社 カランメール

○指定期間

令和6年4月1日～

令和9年3月31日

★大和田議員

問 事業計画書には、料理教室の企画や村主催事業への協力などは盛り込まれているのか。

答 村で採れた野菜を使ったレシピ教室、特産である枝豆などを使った料理教室が提案されている。

★北嶋議員

問 指定管理者の条件に調理師免許取得者があると思うが。

答 各種教室を行う調理師、栄養士を雇用する見込みである。

また、村主催の健康づくり事業にも積極的に関わっていきたくと代表者から方針を聞かせていただいている。

また、村主催の健康づくり事業にも積極的に関わっていきたくと代表者から方針を聞かせていただいている。



まちなかキッチンスタジオ建設が進んでいる

★船田議員

問 指定管理者について、事前の説明があっても良かったのではないか。

答 ケースバイケースだとは思いますが、今後も説明すべきことは説明していこうと考えている。

補正予算

12月8日に一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計の5会計を、15日に一般会計補正予算を審議し、可決しました。(左表参照)
次頁に補正内容と質疑の主なものを掲載します。

会計	補正額	
	12月8日	12月15日
一般会計	1億343万円	4513万円
国民健康保険特別会計	8万円	
介護保険特別会計	285万円	
簡易水道事業会計	支出 135万円	
公共下水道事業会計	支出 △19万円	

各会計の補正予算額

猛暑・熱中症対策 保育園・児童館にエアコン設置

一般会計補正予算

歳出

●中札内保育園管理費

・保育園舎エアコン設置工事

3795万円

猛暑を受け、保育環境の整備のため、保育園舎の室内機の設置、受電設備の増強等を行うとするもの。

※繰越明許を設定

★大和田議員

問 設置箇所と設置完了時期は。

答 工事は、室内機17箇所と室外機8箇所の設置、受電設備の増強工事となっている。

昼寝の部屋、保育士等の事務室、各教室、遊戯室、子育て支援センター及び職員事務室、玄関横の地域クラブ、休憩医務室、給食調理員の更衣室、打合わせ等を行う部屋に設置する。

設置完了は令和7年2月末までを想定している。受電設備の機材調達に時間を要することからこのような見通しとなっている。

◎繰越明許とは

経費の性質や予算成立後の何らかの理由により、年度内に支出が終わらない見込みであるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越しして使用できるようにすること。

★宮部議員

問 保育園は構造上の問題で通常より工事費が高くなる可能性があるが、通常より高い工事費なのか。

答 比較をしないので高いかどうかは分からないが、構造にあった形で設計していただいている。



園児たちが健やかに過ごせるよう保育環境を整備

●児童館管理費

・児童館エアコン設置工事

590万円

猛暑を受け、児童等の熱中症対策として、施設内5部屋にエアコンを設置しようとするもの。

※繰越明許を設定

★木村議員

問 設置が完了する時期は。

答 令和6年5月末までに完了する予定。

●調理場管理費

・調理場エアコン更新工事

1628万円

調理場内の厨房及び食品庫、休憩室、事務所等のエアコンを更新しようとするもの。

※繰越明許を設定

★宮部議員

問 更新となっているが、建設当初の設置か、途中で設置したものか。

答 当初からではなく、平成14年に設置したものである。設置



調理場の様子

から21年が経過し、一部の部品が製造中止となっている点や出力が少し弱まっていることもあり、更新することとした。

●児童支援費

・住民税非課税世帯等

臨時特別給付金

3850万円

国の総合経済対策として、エネルギー・食料品価格等の物価高騰に直面する低所得者世帯に対して、一世帯当たり7万円を給付しようとするもの。

●定住対策費

・定住促進補助金 1488万円

住宅リフォーム支援金の申請件数の大幅増に伴い追加補正しようとするもの。

★大和田議員

問 利用状況を確認したい。

答 中札内スタイル住宅建設奨励金が3件で、住宅リフォーム支援事業には想定を上回る61件の申請が出されている。

●企画一般経費

・地方バス路線維持対策補助金

288万円

運行事業者における人件費や車両修繕費、燃料費等の経常費用の大幅な増加に伴い追加しようとするもの。

★戸水議員

問 過去2年に比べて増加している要因は。

答 過去2年間は、国庫補助金による新型コロナウイルスの影響に対する特例措置があり、自治体負担分が減ったことが要因である。



十勝バス

12月定例会の一般質問は6人の議員が登壇。
紙面の都合により、内容を要約して
お知らせします。
※詳しい内容（会議録）はコチラ



村政のここを教えてください！！

一般質問



きたしま のぶあき
北嶋 信昭 議員

「日本で最も美しい村」連合に加盟した村の防風林
について

6



YouTube 動画
10分35秒～



とみず たかし
戸水 隆 議員

高病原性鳥インフルエンザに対する対策について

7



36分55秒～



きむら ゆうこ
木村 優子 議員

不登校児童生徒の支援について

8



1時間48分
00秒～



みやべ しゅういち
宮部 修一 議員

ふるさと会の現状と今後の課題について

9



4時間30分
45秒～



ふくはら かずよし
福原 一斉 議員

大規模草地育成牧場、道営事業の概要について

10



5時間19分
25秒～



ふなた こういち
船田 幸一 議員

猟銃の所持許可等に係る申請者の負担軽減について

11



6時間01分
55秒～

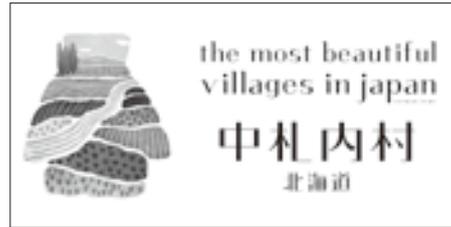
一般質問 とは？

議員が村政全般にわたり、執行機関（村長・教育長）に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、疑問点をただすことです。
年4回開かれる定例会でのみ行われます。

北嶋議員

村長

防風林整備にふるさと応援寄附金の活用を 雑木処理や支障木伐採処理などへの活用を前向きに検討



「日本で最も美しい村」連合ロゴ
中札内村バージョン

- ・2016年「日本で最も美しい村」連合に加盟（5年に一度再審査）
- ・北海道では9町村が加盟
- ・未来に残したい地域資源として中札内村の「防風保安林に守られた農村原風景」と「北の大地を彩るアートと文化」の取組みが評価されました

問

本村は2016年に「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。

本村の特長である風景として防風林が考えられ、防風林は農村景観の中で象徴的な役割を良好な地域イメージに貢献しておりますが、防風林は長い年月の間に木の枝が伸び、その下には雑草・雑木が生え、木の根までが農地まで伸びています。

中札内村の基幹産業は農業ですが、防風林の影響により、防風林際の一部の農地では耕作が出来なかったり、大型機械がぶつかるなどの影響が出ています。

この防風林が農作業に影響が出ないように整備をしてはいかがでしょうか。

防風林を整備するには長い年月と多額の費用が必要だと思えます。

答

そこで、村づくりに応援をしてくれる全国の人達から多額のふるさと納税寄附金があります。ふるさと納税こそ、この美しい農村景観を守るための資金として活用すべきと考えますが、村としての考えを伺います。

本村の防風林は美しい農村景観形成に寄与しており、「日本で最も美しい村」連合に加盟した際にもこの点が評価されています。また、開拓時代から農作物風害から守る一助を担っています。

その管理については「中札内村森林整備計画」により進められ、北海道の造林事業補助金を活用した下刈、間伐等の作業のほか冬季労働者雇用対策事業を活用した保安林内の下刈、雑木処理等も行っています。

営農活動に影響が出ている畑際の保安林対策について、村では農業者からの連絡や職員の見回りによる目視点検により、営農への支障を軽減する対応に努

めます。

畑際の植栽についても樹種を変える工夫や現場の状況にもよりますが伐採木により、林帯内側に植栽をすることで将来的に営農に支障が出ないような取組も進めています。

防風保安林の管理整備に関わる費用については、法律に基づく公益的資産として計画的かつ恒久的に取り組む事業の性質上、その他の生活基盤インフラの維持管理と同様に安定的な財源を確保して取り組むことが望ましいと考

えます。指摘のとおり、防風保安林は本村の美しい農村景観を維持する大切な要素でもあり、ふるさと納税寄附金を原資とした「豊かな環境等創生基金」を活用し、支援くださった寄附者への負託にこたえることも十分に意義があると認識を新たにしました。

国庫補助金等を活用し進め

ている造林事業とは別に、防風保安林の管理に係る雑木処理や支障木伐採処理などに対しては、ふるさと納税寄附金により取り組むことを前向きに検討します。



防風林

戸水議員

中札内たまご、中札内田舎どりを守るために！

村長

中札内ブランドとして大切な資源と受止め、防疫体制を徹底

答 事業者敷地内の消毒強化を図るため、道から支給される石灰や消毒液を中札内自衛防疫組合にて12月と3月に配布。また、防疫の専門家による研修会を開催し広報誌やSNS等を活用し、一般村民に対して不用意に養鶏事業所に立ち入らないよう注意喚起を図っています。

問 中札内村独自の防疫対策は。
答 近年、高病原性鳥インフルエンザのニュースが全国的に報道される中、養鶏業の盛んな本村において採卵鶏約20万羽、肉鶏約18万羽に迫りくる危機をどう防ぐのか、次の点について伺います。



鶏舎内は衛生管理が徹底されている

問 また、軽微な対策として施設課では、畜産事業所へ水道メーター検針に訪問する必要のないスマートメーターを令和5年から導入しました。

問 ウイルスを媒介する衛生昆虫、カラスの駆除を早い時期から実施できますか。

答 衛生昆虫については令和6年度から駆除時期を早める形で考えています。また、カラスについては罾を仕掛けるなど猟友会と相談していきます。

問 畜産業専門の防疫ステーションを設置してはどうでしょうか。

答 防疫体制として非常に効果的ですが、観光への様々な影響等、デメリットが大きすぎると思います。

◎防疫ステーション(仮称)とは
 村内に入る畜産業関係車両を消毒するための施設。

入村した場合ここで消毒を終えた後、各畜産農家に向かう手順。(ミルクローリー、飼料トラック、家畜車、配送トラック、営業車、関係者車両等)

問 養鶏業者への消毒機材等への助成の検討は。

答 中札内村畜産クラスター計画の見直しと改定作業を進め、令和6年度から国の畜産クラスター事業補助金を活用できる体制が整う見込みです。よって消毒機材等を整備した際、費用の二分の一の補助金が交付されます。

問 万が一発生してしまった場合の対処策、家畜保健所や北海道、関係団体との連携がスムーズに進められる体制が整えられていますか。

答 十勝総合振興局と連携し、村内の養鶏事業者ごとの防疫対策を定め、移動制限区域の確認、農場ごとの消毒ポイントや消毒手順、人員配置など発生時の対応について、机上でのシミュレーションを行っています。

問 殺処分した鳥の埋却地について、農場敷地内での埋却が不可能な場合(地下水が沸く等)、の対応は。

答 村で代替地を確保していますが、湧き水等の試掘調査はしていません。今後、そこを問題視して振興局と対応策を協議していきたいと思っています。

問 現地対策本部は村内のどの施設を想定していますか。

答 現段階で振興局と確認している施設は文化創造センター、もしくは交流の杜です。



自販機の前には中札内たまごを求めて連日行列ができています

木村議員

教育・福祉が連携し相談者に寄りそう支援体制づくりを

教育長

不登校や特別支援等を担当する専任職員の配置を検討

小中学校の不登校児童生徒数は10年連続で増加し、令和4年度は全国で約29万人、北海道においても1万2千人超と過去最多となり、高等学校についても増加傾向となっています。

本村の不登校児童生徒の支援状況や今後の取組みについて伺います。



相談窓口に関するパンフレット 村HPの子育て支援のページからアクセス可

問 不登校児童生徒が学びたいと思つたときに学べる環境整備や、教育支援センターを拠点とした児童生徒や保護者への支援についての取組状況は。

答 学校に行きづらい、教室に入りづらい児童生徒が、主体的に学校復帰できるよう、個々に応じたきめ細やかな支援を行い、希望に合わせ、オンライン授業や相談室・保健室等、別室での学習なども提案しています。

今年度から中学校では、校内教職員の中から不登校支援コーディネーターを置き、個別の状況に応じた支援を組織的に取組んでいます。

教育支援センターについては、「南十勝子ども発達支援センター」で相談や支援を行っており、村独自で設置する予定は現時点ではありません。

必要に応じ他市町の教育支援センターや民間団体が運営する教室等とつながり、居場所や学びの場を作るほか、更別村との二村共同での設置についても今後、検討できればと考えています。

◎教育支援センターとは
各地域の教育委員会が開設し、学校とは別に児童生徒一人ひとりに合わせて個別学習や相談などを行う場所。
十勝管内では6市町(帯広市、音更町、芽室町、幕別町、鹿追町、足寄町)が設置。

問 児童生徒や保護者が悩みを抱え込まないよう、適切な情報や支援を得られる体制づくりは。

答 小中3校にスクールカウンセラーを月一〜二回派遣し、児童生徒や保護者、教職員の相談に専門的な見地から助言を行っています。

来年度から不登校・登校しづらいや特別支援教育などを担当する専任職員を外部から採用して配置し、カウンセラーの相談日以外でも対応できる体制づくりを考えています。

中学校では、3学期から「心の健康観察」の取組みをはじめめる予定で、グループフォーラムを活用し、その回答から生徒の心や体調の変化を把握し、

SOSを早期に発見し対処していきます。

問 相談窓口と支援情報の周知は。

答 不登校やひきこもりについては、学校だけでなく家庭環境などの子どもを取り巻く要因が複雑に関与している場合もあり、福祉課福祉グループが児童生徒に限定しない相談窓口となり、関係機関と連携しながら個別の支援につなげています。相談先や居場所をまとめたパンフレットを作成し、民間団体の活動情報も併せて村ホームページに掲載しています。

問 中学校卒業後の支援は。

答 高校生となった生徒や保護者との関わりが薄くなることで相談につながりにくい課題があります。

子育てに関する相談や支援を一体的に対応するため、国が令和8年度までに設置を目指す「子ども家庭センター」の体制づくりに向けて、検討を進めていきます。

宮部議員

ふるさと会の会員拡大に協力を

村長 クチコミやSNSなど情報発信を継続していく

中札内村には東京・札幌・帯広にふるさと会があり、中札内村を愛する力強い応援団です。

令和元年度に行った質問では、個人情報取り扱いが厳密になり、様々な手立てを打ってはいるものの、会員増加には至っていないとの答弁でした。

各ふるさと会を中心となつて活動している方々も、それぞれお年を召してきており、今後の活動が心配されることですが、各地で活躍されている本村出身者がまだまだお



札幌・中札内村ふるさと会集合写真

られると思います。そこで次の点について伺います。

問 前回の答弁では、各ふるさと会役員の皆様と協議し、会員増につながる方策等を検討していくとの事でしたが、その後の状況は。

答 令和2年度に新たな補助制度を創設し、総会及び交流会に初めて参加する非会員の方を対象に、参加費及び旅費の一部を助成しました。また、令和2年度、3年度は村から会員皆様に村の特産品を贈呈させていただきました。

さらに、離れた場所に住んでいてもふるさとに関心を持っていただけるよう、SNSをはじめとするインターネットを活用した情報発信に力を注いでおり、ふるさと会の活動状況の紹介も行っています。

すぐに会員増加へとつながるものではありませんが、中札内村出身者や中札内村ファンの方など様々な世代とのつながりが生まれているところです。

問 十勝管内市町村の東京ふるさと会現状については、以前は19市町村あるなかで、16市町村に東京ふるさと会が設立されましたが、現在は9市町村の活動実績しかないようです。

やはり高齢化や、若い会員が入会してこない、会員情報が入りづらくなってきたりなど、ふるさと会の存続も難しくなってきたりしているようです。

SNSやインターネットでの情報発信だけではなく、地域住民の方のクチコミ情報など別の方策も考える必要があるのでは。



東京・中札内ふるさと会の方々と

	令和元年	令和5年	増減
帯広ふるさと会 (平成6年発足) *平均年齢60歳後半	71名	58名	▲13名
札幌ふるさと会 (昭和63年発足) *平均年齢73.5歳	245名	199名	▲46名
東京ふるさと会 (昭和63年発足) *平均年齢60歳後半	228名	214名	▲14名

中札内村のふるさと会会員数
※平均年齢は令和元年時のもの

答 現時点で妙案はなく、今は情報を届けるのがすごく難しい時代です。SNS等を使うのは手段の一つに過ぎず、中でもやはりクチコミが一番効果があると思います。お金をかければ新聞広告などのせる方法もありますが、費用対効果を考えると難しい面もあります。

クチコミにしてもSNSの発信にしても、継続して今後も地道にやっていくことがすごく重要なのではないかと、改めて感じている次第です。

私ももししっかり努力していきますし、議員の皆様も幅広いコネクションを持っていらっしゃると思いますので、ぜひご協力いただきたいと思います。

福原議員

大規模草地育成牧場 道営事業の概要は

村長

施設整備と草地更新など総額28億円の見込み

大規模草地育成牧場では、平成30年頃より、従来の牧場の多くの問題点、改善点などを指摘させていただいており、来年度から計画されている「道営草地畜産基盤整備事業（公共牧場整備）」には大きな関心を寄せています。

当時、指摘させていただいた問題が、今回の事業でどのように改善されるのか。来年度からの事業ということですので、決定されたこともあろうかと思っておりますので、次の点について伺います。



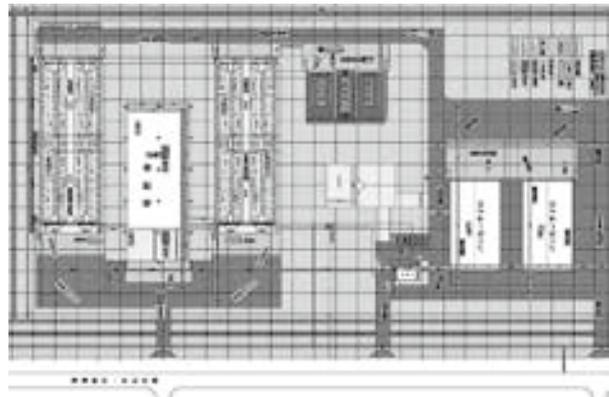
問 道営草地畜産基盤整備事業の計画概要と概算費用の規模と費用負担割合について。

答 現在使用している牛舎は、昭和53年に建てられた施設

で老朽化が進んでいるなど、抜本的な見直しが必要となりました。こうした状況を踏まえ、道営事業による整備を検討し、新たな牛舎を現在の南札内基地前に整備するとともに、手つかずであった各放牧区の草地更新も行う予定です。

計画概要は、育成舎250頭規模が2棟、バンカーサイロ及びロールサイレージ置き場、堆肥舎などを整備。草地更新では、南札内基地周辺、元更別牧区を中心に、整備改良面積は3・4・7ha、造成改良面積は1・5・4haを予定しています。

概算費用は、令和6年度から令和11年度までの6年間で整備し、総額28億円と見込んでいます。



道営事業による整備計画図

内訳は、草地更新等の面整備で8億1500万円、施設整備で18億4500万円、機械等購入費で1億4000万円となり、費用負担の割合は、国及び道の負担が75%、地元負担は25%となっております。本村の負担額は7億円の見込みで、村負担分の財源は、地方交付税算入率80%の辺地対策事業債を活用することで、関係機関と協議を行っています。

施設整備分における事業費の7・5%分、約1億3800万円分については、受益者に負担していただくことで整理したいと考えています。なお、細部については一部変更する場合があります。

今後も村内酪農家や関係機関と連携しながら協議を進め、令和6年度からの事業が円滑に進められるよう取り組みます。

問 平成28年度に建設された牛舎については、受益者負担が非常に大きかったです。が。

答 従来の負担配分について、今回、道営事業の負担割合を再算定する中で、改めてその負担割合が適切だったのかどうかも踏まえて、統一的に見直し検討を行います。

問 現在使用している旧牛舎の活用方法は。

答 例えば、既存の牛舎を使っている、患畜なども預かれないかという意見もいただいております。様々な角度から検討を進めます。

船田議員

猟友会存続のための方策は

村長 支援対象者の拡大などを視野に検討していきたい

問 本村の猟友会では、年々会員の高齢化などにより、会員数が減少傾向にあり、将来の活動や会の存続が危惧されています。

また、その一方では、担い手不足が顕著になってきているとも言われています。村は、これらの実態をどのように捉えているのか。

今後の有害鳥獣駆除の出動要請を行うにあたり、会員数減少と担い手不足により今後の活動に与える影響について、どのような見通しを立てているのか伺います。

更には、村において担い手の育成、確保を図る観点から、猟銃の所持、狩猟許可等に係る申請者の負担軽減について、具体的な措置を講ずる考えがあるのか伺います。

答 全国的に猟友会構成会員は、年々減少傾向にありますが、村では新規会員の加入により、現在の60歳以下の会員は、19名の会員中9名で、高齢化には一定の歯止めはかかっている状況です。

このため、近年の有害鳥獣駆除頭数等に大きな変化はみられず、現状では安定的に活

動していただいていると受け止めています。

しかし、会員の担い手不足、高齢化は本村においても今後、確実に進むと考えられ、議員が懸念されている通り、有害鳥獣駆除の持続性確保に向けた方策は必要です。

担い手の育成・確保については、農林産物等への被害の減少を図ることを目的とする「有害鳥獣捕獲対策支援事業」として、農業の経営主や農業生産法人の構成員等で猟友会に入会する方を対象に、新規に狩猟免許や猟銃所持許可申請等に係る費用に対して全額助成を行っています。

ただ、同支援事業の活用について、農業経営主等の要件に該当しない方からの問い合わせがあるなど、一般の方で免許取得に興味を持たれている方がいる状況を把握しています。

猟友会の意向を確認させていただきながら、複数の自治体でも導入している支援対象者の拡大などを視野に入れ、担い手育成・確保に向けた見直しを検討する考えです。



猟友会によって捕獲されたアライグマ
令和5年12月末実績で捕獲数は13頭
捕獲頭数は毎年増えつつある

● 猟友会帯広支部中札内部会への入会及び補助対象者

中札内村に住所を有するもので、農業経営を営む経営主とその家族、または農業生産法人の構成員とその家族

● 補助対象経費・補助金

新規取得に要する経費に対する補助
一 免許種類等につき一回に限る

- (1) 狩猟免許講習会費用
- (2) 狩猟免許申請手数料
- (3) 銃砲等所持講習会費用
- (4) 教習資格認定(技能検定)申請手数料
- (5) 猟銃用火薬類等受許可手数料
- (6) 射撃教習受講・交差受験または技能検定受験費用
- (7) 猟銃所持許可申請手数料

(中札内村有害鳥獣捕獲対策支援事業補助金交付要綱)より

村内合同所管事務調査

令和5年10月12日に、札内川上流地域の状況と今年度実施した工事現場など村内5か所の施設等の調査を行いました。

★中島農業センター外壁塗装・LED改修工事

建設以来初となる改修工事で、外壁サイディング、屋根鋼板等の改修、軒天ボードの塗装により綺麗に整備され、LED化により省エネが図られる施設となりました。中島農業センターは地区住民の避難所であるとともに、交流の拠点となる施設であり、さらに利用される施設になるような対策が必要です。

★協和39号道路及び

興和・南常盤東5線道路改修工事

路盤整備の一年後に舗装工事を行うことで道路の沈下を最小限に抑える工法で整備されました。

道路は冬期間の凍上等による沈下や、舗装の亀裂が発生するリスクが高く、今後の道路整備の際に同工法の採用についての検討、また幅員が狭いものは大型車両の対面通行なども考慮して、幅員を広げることについても検討していただきたいと考えます。

★中札内中学校エアコン設置及び教室増設改修工事

中学校では猛暑により短縮授業にするなど、授業の進行、生徒の体調に影響が出ていましたが、全室にエアコンが設置されました。また、既存の美術室を普通教室に改修、柔道室を美術室に改修する工事に合わせて、格技棟の手洗い場と更衣室の改修工事も行われました。



柔道室を美術室に改修

★生ごみ処理施設建設工事

施設の老朽化に伴い新設された処理施設には、新たな手法による機器が整備されました。整備された処理施設は十勝管内では先進的な独自の取組みとなっています。

現在は、生ごみを分別して出していない家庭も多く、二酸化炭素削減と処理コスト削減のために、より多くの村民に生ごみ回収に協力いただくよう周知に努めていただくことを望みます。



十勝で初めて導入された生ごみ処理機

★札内川園地管理状況

札内川園地の管理状況と給水施設改修工事を確認しました。現状の施設では安定した給水の確保が難しくなったことから、新たに6トンタンクが設置され、札内川園地全体の飲料水を賄うことができます。

キャンパスサイトのトイレは古く、利用者にとっては利用しづらいように感じました。今後、トイレと炊事場を整備する計画ですが、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化により、多くの来場者が見込まれることから、適切な維持管理に努めていただきたいと思います。

★道道静内・中札内線視察（札内川上流地域）

道路や橋梁等の修復が進み、昨年度と同様にポロシリ覆道ゲートまで進入可能でした。

現道の維持管理状況や上札内橋架替え工事等の進捗状況について説明を受けました。

日高山脈襟裳国定公園の国立公園化により、多くの来場者が見込まれること、水道水、農業用水等の水源であり、札内川上流地域の水質保全に不可欠な道路であることから、重要道道として今後とも適正な管理がされるよう求めます。

議会行政視察調査

南幌町へ
行ってきました！

令和5年10月18日に空知管内南幌町を訪問し、オンデマンド交通の取組みと子ども室内遊戯施設について調査しました。

●オンデマンド交通
『あいるーと』

「交通弱者全てのニーズに対応した交通体系」を目指して

オンデマンド交通導入前、南幌町では路線バス、タクシー、代行事業者、町内巡回バスが運行されていました。

巡回バスは、全ての交通空白地域を網羅できない、路線バスへの接続に限界があるなど、利用者は少なかったそうです。

高齢化率は34.8%で、今後の高齢化社会や多様化する町民ニーズを受け、令和3年10月からAIオンデマンド交通『あいるーと』の運行を開始しました。（巡回バスは廃止）

『あいるーと』運行状況

平日の午前8時から午後5時まで運行しており、当日予約も可能です。

運賃が必要ですが、利用者数は月平均約800人、1日平均利用者数は約40人となっています。

土日の運行を望む声の一部ありますが、満足度は非常に高い状況です。

運行経費と導入経費

運行経費は、タクシー会社委託費、燃料費、電話回線使用料、システムライセンス使用料などを合わせて約1500万円となっています。

ハイエース2台、配車システムを導入し、導入費総額で約1300万円となっています。（地方創生臨時交付金を活用）

まとめ

中札内村においても高齢化率が上昇する傾向にあり、今後は免許返納者の増加などで、交通弱者の移動手段として、自宅から目的地までの需要が高まっていくと見られます。

巡回バス運行では空白地帯が多く利用者が少ない現状を捉えると、オンデマンド交通導入の検討が必要な時期を迎えているのではないかと考えます。



あいるーとで使用されている車両

●子ども室内遊戯施設
『はれっば』

人々が集うまちづくりの拠点
子育て・移住定住施策

南幌町が行ったアンケート調査では、「天気の良い日や冬場に室内の遊び場が欲しい」「子どもだけで安心して遊べる場所がない」などの声もあり、中央公園と連動させる形で、人々が集うにぎわいの場、まちづくりの拠点施設として、『はれっば』が建設されました。市街地や周辺飲食店への誘客を担っています。



はれっば内の遊戯場

住みよい環境、子育て施策の効果的なPRとして、また、北広島市のポールパークや道央圏連絡高規格道路の開通において通過点で終わらせない狙いもあります。

昨年5月にオープンし、10月時点で既に今年度入館者数目標の2倍以上の約12万人が来場。

来場者の約9割が町外からで、目指していた外からの人の流れを巧みに捉えています。

まとめ

中札内村では鉄道記念公園が改修されましたが、冬場の遊び場をどう確保するかが課題となっており、屋内遊戯施設に対する若い世代の声を聞くことも必要ではないかと考えます。

上士幌町議会と士幌町議会が視察来村

令和5年10月20日に上士幌町議会の役場庁舎等整備調査特別委員会（委員10人）と小椋議長が、11月14日に士幌町議会の総務文教常任委員会（委員5人）と河口議長が視察のために来村されました。

◆上士幌町議会

役場庁舎等整備調査特別委員会

○議場等の整備状況について

上士幌町では、役場庁舎の大規模改修が予定されています。

議場等の議会関係の諸室は別棟に新設される計画で、令和3年に新築した中札内村議会の議場、関係諸室の整備状況について調査するため来村されました。

本村議会の整備状況の説明を受け、議場等の見学を行った後、活発な意見交換がされました。



中札内村議会議場を見学

◆士幌町議会

総務文教常任委員会

○部活動等の地域移行への取組み

少子化により子どもたちの活動の場が減少し、学校における働き方改革が進む中、指導体制の維持が困難になっていく状況を見据え、部活動等を学校と地域の連携・協働により持続可能な活動にすることを目的に、中札内村では推進協議会を設立し、部活動等の地域移行に向け取り組んでいます。

士幌町議会総務文教常任委員会は、十勝管内で推進協議会のもと、部活動の地域移行に取り組んでいる本村の状況を調査するため来村されました。教育委員会から説明を受け、活発な意見交換がされました。



士幌町議会の皆さんと

議員研修

◆南十勝町村議会議員研修会

令和5年10月4日に更別村を会場に南十勝町村議会議員研修会が開催され、議員全員で参加しました。

研修会では、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長のなかむらけん中村健氏から「住民の関心が高まる議会」と題し、住民からの意見聴取の先進的な事例や住民参加の手法などについての講演を拝聴しました。



他自治体議会における住民参加の実例について学びました



二村議会議員が部活動等の地域移行の取組みについて情報を共有

◆二村議会議員研修会

令和5年11月17日に本村を会場に、更別村議会との二村議会議員研修会を開催し、議員全員が参加しました。

中札内村でモルツクの普及に努めている「十勝あおいろモルツクの会」にご協力いただき、両村の議員全員でモルツク体験を行った後、中札内村の部活動等の地域移行の取組事例について認識を共有し、親睦を深めました。

第3回臨時会

令和5年10月27日 開会
 会 期 1日
 審議案件 議案1件
 (原案可決)

財産の購入

●中札内交流の杜備品
 (乗用芝刈機)
 913万円

中札内交流の杜に乗用芝刈機(5連リールモア)一台を購入するもの。
 令和6年10月31日までを納期として、株式会社昭和熱器工業と売買契約を締結することを可決しました。



議会におけるDXの取組み

中札内村議会では議会改革の一環として様々な取組みを行っていますが、議会が行っているDXの取組みについてご紹介します。

① 本会議のインターネット配信

開かれた議会を目指し、平成26年6月定例会から本会議の配信を始めています。
 現在は『YouTube』による配信を行っています。

② 議会中継システムの更新

役場新庁舎建設に合わせて、発言者にカメラをズームさせることで閲覧者が分かりやすいシステムに変更しています。

③ タブレット導入に向けた取組み

令和3年度に検討を開始し、これまでに先進議会への視察、タブレットのデモを行っています。
 現在、議会運営委員会において協議を重ね、タブレットを導入した際の活用方法等を検討している段階です。

活用事例(案)

本会議等でのペーパーレス化
 オンラインによる委員会等の実施
 SNS(議会)による情報発信
 オンライン研修会の参加 など

◎DX(デジタルトランスフォーメーション)とは

デジタル技術を用いて、ビジネスや生活をより良いものに変化させること。議会においては、議会・議員活動の質を高め、議会活動の見える化により住民視点や住民参画の面で効果が期待できる。

ふるさと納税返礼品の発注ミスに 関する要請書を村長に提出

令和5年9月にふるさと納税に係る返礼品の発注ミスにより、寄附していただいた方々に返礼品を送送できなかった事実が発生したことを受けて、中井議長から村長に対して要請書を提出しました。

要請書には、ご迷惑をおかけした方々への対応の遅れや議会への報告の遅れに対する指摘、停止されている人気返礼品の早期解除を望むことなどを要請しています。



令和5年12月19日
 中井議長から森田村長に要請書を提出しました

議会研修会のお知らせ

中札内村議会主催の研修会を開催します。
村民の皆様も、ぜひご参加ください。
(参加無料、事前申込み不要)

日時 2月15日(木) 午後2時～

場所 老人保健福祉センター
運動指導室

内容 「災害時の住民支援と法制度
～被災したあなたを助けるお
金とくらしの話」

講師 おかもと 岡本 ただし 正 氏 (弁護士)

問合せ 中札内村議会事務局
電話 67-2497

ふるさと会に参加!

10/ 1 札幌・中札内村ふるさと会
12/ 2 東京・中札内ふるさと会



札幌・中札内村ふるさと会での交流風景



東京・中札内
ふるさと会
集合写真

札幌・中札内村ふるさと会に中井議長と船田議員が、また、東京・中札内ふるさと会に中井議長と宮部副議長が参加し、それぞれの会員の皆様と情報交換をしながら親睦交流を図り、楽しい時間を過ごしてきました。

次の定例会は 3月です!

日程が決まりましたら情報無線等でお知らせします。
どなたでも傍聴できますので、気軽に議場へお越しください。
議会中継は YouTube でも配信しており、「中札内村議会」で検索できます。
また、下記のQRコードからもアクセスできます。



中札内中学校3年生 模擬議会

昨年11月21日に、中学校3年生による模擬議会が行われ、32名の生徒が6グループに分かれて、「『美しい村』の景観保護について」、「高齢化による介護士などの人手不足について」、「小中学生の学力向上に対する取組みについて」など、各グループ一項目の政策提案や改善提案がされました。担当課長等からそれらの提案について答弁されました。

生徒たちは、村長や議長による事前勉強会などを経て村や議会の仕組みを知り、政策や状況を調べて提案しました。それに対する答弁書をもとに、再質問を準備するなど、活発な討議がされました。

村長からは質問内容が素晴らしいと講評があり、まちづくりについて関心をもち理解を深める機会になったのではないのでしょうか。

※「広報なかさつない」一月号に
詳しい質問内容が掲載されています。



各グループで考えたまちづくりの政策を提案

編集後記

元日に発生した能登半島地震では、石川県で最大震度7の揺れを観測し、甚大な被害が出ました。避難所に身を寄せる方々の様子が放送され、楽しいはずのお正月が一変したかと思うと心が痛みました。

この十勝でも真冬に大地震が起きた時、どう身を守ればいいのか、自分事として考えさせられました。一番の心配は寒さ対策です。我が家は電気のいらぬストーブを用意していますが、避難指示が出た時はどう行動するのか、避難グッズに何を入れておくのか、高齢者の方は避難できるのかなど、不安が募ります。

十勝沖地震もいつ来るかわかりません。今一度、冬場の災害の備えをしっかりと考えなくてはならない時が来ています。

中札内村で安心して住み続けられるよう、行政と住民が協力し合い乗り越えていきたい課題です。

(おおわだ 大和田 しんご 彰子)